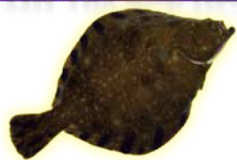


地域特産品の流通消費拡大に向けた勉強会



がんばれ マツカワ

■プログラム

- 12:30 開場（受付）
- 13:00 開会挨拶（主催者代表挨拶）
菊谷秀吉 伊達市長（えりも以西栽培漁業振興推進協議会会長）
- 13:10 マツカワの流通消費調査報告（20分）
室蘭開発建設部 地域振興対策室 地域振興係長 山田 奈緒
- 13:30 講演（1時間20分）
【講師】上田 勝彦 氏（水産庁研究指導課情報技術企画官）
【テーマ】正しい活け締め技術による魚の品質向上と成功事例・失敗事例
【試食】活け締めマツカワの食べくらべ
- 14:50 地域の話題提供（25分）
【提供者】室蘭追直地域マリンビジョン協議会
室蘭市農水産課農水産係長 相原 清一 氏
【話 題】追直漁港 Mランドの供用について
- 15:15 質疑応答
- 15:30 閉会

講演内容

【テーマ】正しい活け締め技術による魚の品質向上と成功事例・失敗事例

“神経締め”と呼ばれる活け締めの技術をビデオを使ってご紹介するとともに、その成功事例や失敗事例について講演します。

また、活け締めを施したマツカワと、そうではないマツカワの試食（食べくらべ）もあります。

【講師プロフィール】



上田 勝彦氏（水産庁研究指導課 情報技術企画官）

1964年島根県出雲市生まれ。平成23年から現職。
長崎大学水産学部在学中から、漁船で働きながら日本の漁村を行脚する。瀬戸内の漁業紛争調整、南氷洋調査捕鯨、太平洋マグロ漁場開発、日本海資源回復プロジェクト等に従事。日本の「魚食力」を再興すべくトークと料理でサカナの魅力を伝える魚の伝道士。魚食復興有志の会「Re-FISH（リ・フィッシュ）」代表。テレビ・ラジオ・雑誌などメディアを活用しての魚食普及にも尽力。

ごあいさつ

日本海の白身の高級魚「ヒラメ」。しかし、太平洋にはヒラメに負けない白身魚（鰈）がいます。それは幻のさかなと呼ばれる「マツカワ」です。

えりも以西栽培漁業振興推進協議会（事務局：伊達市）では、平成18年度から年100万尾のマツカワの放流事業を行っており、えりも以西の太平洋側で獲れる35cm以上の「マツカワ」を、「王鰈（おうちょう）」というブランド名で売り出しています。

一方、室蘭開発建設部では、従前から地域が抱える課題の解決に役立てていただくことを目的として、胆振・日高地域の農水産業の活性化に資する調査の実施や、室蘭市の追直（おいなおし）漁港など水産物の生産・流通拠点漁港の整備を行っており、水産物の衛生管理などの漁業活動を支援しています。

本勉強会は、これらの背景や経緯などから、えりも以西栽培漁業振興推進協議会と室蘭開発建設部が共催で「マツカワ」の更なる高付加価値化を目指して、有識者を招いた勉強会を開催し、関係機関等に対して有益な情報発信を行うとともに、「マツカワ」の知名度アップに資することを目的とするものです。

本日までご参加いただきました皆様方におかれましては、本勉強会を通じまして、マツカワの更なる流通消費拡大や、高付加価値化への取組の「気づき」の一助となれば幸いです。



マツカワの放流



王鰈ブランドのタグ



追直漁港 Mランド(沖合人工島)

主催：えりも以西栽培漁業振興推進協議会、室蘭開発建設部

後援：北海道胆振総合振興局、北海道日高振興局、室蘭追直地域マリンビジョン協議会

〈お問い合わせ先〉開催事務局 北海道開発局 室蘭開発建設部 地域振興対策室
TEL: 0143-25-7053 E-mail: chiikisinko-mr@hkd.mlit.go.jp